

北陸農政局

ディスカバー

農山漁村の宝



～がんばっています！ 身近なところで 元気なムラの取組！！～



平成28年2月

北陸農政局 農村振興部

む ら 北陸農政局「ディスカバー農山漁村の宝」とは

「ディスカバー農山漁村の宝」とは、「強い農林水産業」、「美しく活力ある農山漁村」の実現のため、農山漁村の有するポテンシャルを引き出すことにより地域の活性化、所得向上に取り組んでいる優良な事例を選定し、全国に広く発信しているものです。

全国で選定された地区以外にあって、北陸農政局管内には数多くの優良な事例があることから、地域の活性化、所得向上等の取組や、農村振興の重点施策である小さな拠点づくり、都市農村交流等に取り組んでいる優良な事例を「北陸農政局『ディスカバー農山漁村の宝』」として独自に選定し、広く発信することにより他地域への横展開を図るものです。

選定の対象及び選定方法

選定の対象は、内閣官房及び農林水産省が実施した募集において北陸農政局管内から応募のあった107地区のうち、全国段階で優良事例として選定された5地区を除いた102地区としました。

選定に当たっては、局内に「選定審査委員会」を設置し、「優良事例選定要領」に基づいて厳正な審査を行い、23地区を優良事例として選定しました。

選定証授与式及び意見交換

平成27年12月21日、金沢広坂合同庁舎において、選定証授与式を開催しました。

選定証授与式では、選定証授与の後、全国段階での選定地区から取組概要をご紹介いただきました。

その後、会場を移し、北陸農政局管内から選定された各地区の取組概要をご説明いただき、「地域内経済循環」、「コミュニティ機能の維持」のテーマごとに、出席された全地区と局内関係者の意見交換を行いました。



選定地区と局幹部との記念撮影



意見交換



選定審査委員会 委員長
小林厚司 北陸農政局長挨拶

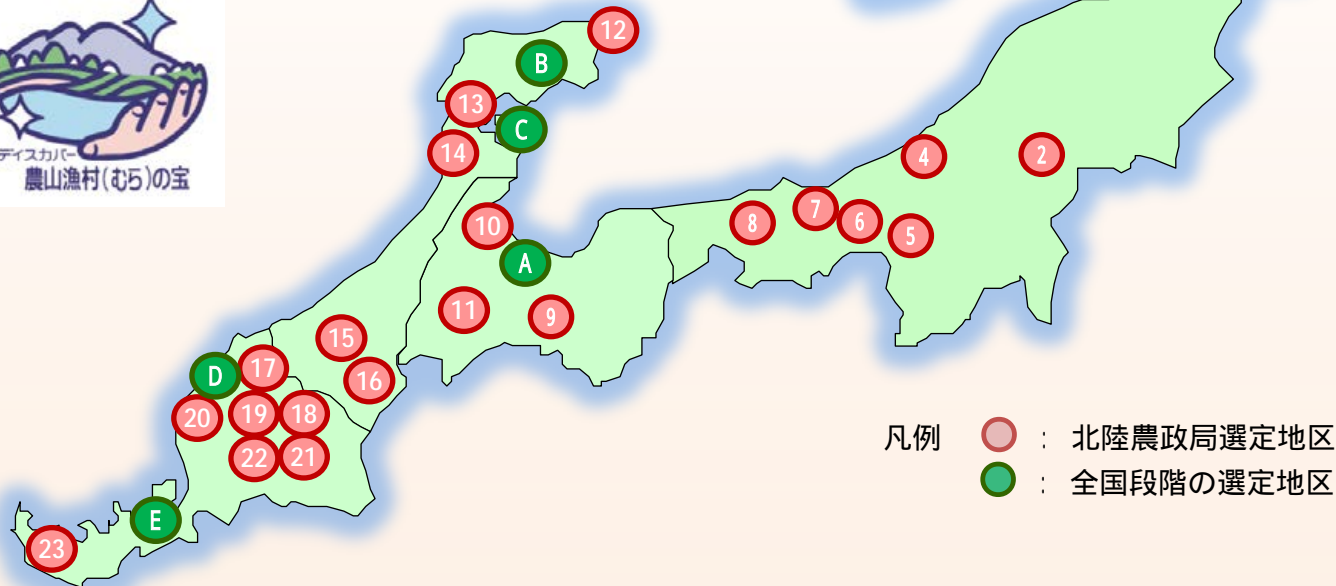


選定証授与



全国段階選定地区
取組概要ご紹介

北陸農政局「ディスカバー農山漁村の宝」 選定23地区と全国段階の選定5地区



新潟県 胎内市 P1 たいない『食』のわいわい会議	富山県 南砺市 P11 南砺市利賀地域長期宿泊体験協議会	⑪ 福井県 福井市 P21 東郷ふるさとおこし協議会
新潟県 魚沼市 P2 特定非営利活動法人 笑顔の里	石川県 珠洲市 P12 株式会社のろし	⑫ 福井県 福井市 P22 特定非営利活動法人 自然体験共学センター
新潟県 佐渡市 P3 佐渡棚田協議会	石川県 七尾市 P13 なとうち 鉦打ふるさとづくり協議会	⑬ 福井県 小浜市 P23 あばん亭
新潟県 柏崎市 P4 みなみじょう 南条地域資源保全会	石川県 志賀町 P14 さむらい 合同会社菜夢来	● A 富山県 射水市 P24 しんみなと 新湊漁業協同組合
新潟県 十日町市 P5 せんだ 仙田地区開発振興協議会	石川県 小松市 P15 こまつ SATOYAMA 協議会	● B 石川県 能登町 P25 しゅんらん 春蘭の里実行委員会
新潟県 上越市 P6 NPO法人よもぎの会	石川県 白山市 P16 きなめり 木滑里山保全プロジェクト	● C 石川県 七尾市 P26 の と たか NOTO高農園
新潟県 上越市 P7 上越市中山間地域 元気な農業づくり推進協議会	福井県 あわら市 P17 特定非営利活動法人ピアファーム	● D 福井県 福井市 P27 殿下の里づくり組合 かじかの里山殿下部会
新潟県 糸魚川市 P8 ほこ・ごんげん (株) 鉦・権現ジオの里	福井県 勝山市 P18 おはら 小原ECOプロジェクト	● E 福井県 若狭町 P28 農業生産法人 のうがくしゃ 有限会社かみなか農楽舎
富山県 立山町 P9 たてやままち 立山町農家民泊体験推進協議会	福井県 勝山市 P19 さと のむき風の郷	
富山県 氷見市 P10 ほそごえ 細越ハトムギ生産組合	福井県 越前町 P20 おくいとう 奥糸生元気な里山会	

たいない『食』のわいわい会議

米粉発祥の地・胎内の「米粉のまち」づくり

観光

「食」の提供・
活用

農商工連携

所在地：新潟県胎内市新和町2番10号(胎内市役所)
連絡先：0254-43-6111



米粉フェスタinたいない



「たいないべえべえ」づくり教室



米粉メニュー食べ歩きマップ

活動のきっかけ・取組の概要

平成10年に日本初の米粉専用工場を建設し、米粉の生産・普及への取組をいち早く開始

平成21年の市観光振興ビジョンに基づき、市民参加の「米粉のまちづくり」を開始し、22年に組織を設立

米粉を使用したオリジナル料理「たいないべえべえ(米米)」を開発するとともに、米粉料理体験や米粉工場見学を組み合わせ、ランチツアーなどを開催し、市外から誘客

地域の変化・活動の効果

会員それぞれが、様々な機会に「べえべえ」づくりや米粉を使用した料理講座等を行い、市内外を問わず幅広い方々に米粉の使い方をPR

米粉フェスタや米粉スタンプラリーの開催等により、「米粉のまち」として認知度が向上し、米粉を学ぶ体験旅行者が増加

米粉フェスタでは、米粉アレルギーに悩む方など、県外からも多く来場

特定非営利活動法人 笑顔の里

「庭先集荷」で高齢者は楽しく、楽々

「食」の提供・
活用

6次産業化

地産地消

所在地：新潟県魚沼市須原1340-2
連絡先：025-797-3013



庭先集荷サービスと高齢者への声掛け



山菜・野菜の加工

活動のきっかけ・取組の概要

地域の過疎化が進行する中、交流し支え合う場として、「地域の茶の間」を開設

地域の交流を通じ、山菜や野菜などの「地域の宝」を活かすことを目的として、平成18年に「笑顔の里」を設立し、収穫物の買取・加工・販売の取組を開始

庭先集荷を他に先駆けて取り組み、首都圏に販売先を確保するとともに、山菜・野菜に加え、付加価値を付けた野菜加工品を各方面や道の駅などに出荷

地域の変化・活動の効果

顔を合わせた声掛けと、少しでも収入に結びつくことが、高齢者の生きがいに

集荷作業のない冬期間にも出張販売を兼ねて高齢者会員宅を訪問し、声掛けによる安否確認を行うことにより、地域コミュニティの形成に寄与

これまで培ってきたネットワークを活かし、高齢者会員の交流や、安心して暮らせる高齢者福祉施設の運営を目指している

佐渡棚田協議会

世界農業遺産の里山から地域おこしを！！

自然・景観

伝統・継承

農林漁業
体験

所在地：新潟県佐渡市千種232（佐渡市役所）
連絡先：0259-63-5117



活動のきっかけ・取組の概要

世界農業遺産の認定を契機に、棚田や里山の維持・保全・継承を目的に、平成24年に協議会を設立

千枚田を保全管理する担い手不足に対応するための棚田オーナー制度や、廃校となった小学校の交流施設としての再活用により、都市住民や島外住民との交流促進に取り組んだ

地域の棚田で生産される米を、世界農業遺産の「棚田米」として販売

地域の変化・活動の効果

多様な主体と連携し活動することで、伝統芸能等地域の資源を活用し交流を進めることができ、地域のコミュニティが高まった

散策ツアー等の実施により、交流人口が拡大し、地域の活力が向上するとともに、地域食材の観光分野への活用につながった

農産物の販売増加による所得の向上により、雇用と担い手が増加し、里山の保全が図られている

南条地域資源保全会

地域資源の活用で活力ある郷土づくり

自然・景観

子ども

6次産業化

所在地：新潟県柏崎市大字南条1893番地
連絡先：0257-25-3460



清掃美化活動「子どもクリーン・デー」



イワナ稚魚の放流



6次産業化施設「ごぼう庵」

活動のきっかけ・取組の概要

農業者の減少により農地や農業施設の保安全管理に支障が生じるとともに、住民の高齢化の進行により地域内の活力が停滞

「農地・水・環境保全向上対策」の取組を契機に、集落農業者と非農業者の住民全員が一体となって地域の課題に取り組むことを目的に、平成19年に協議会を設立

清掃美化活動、田植えや、イワナの稚魚放流・つかみ取り体験などを毎年実施し、地域の世代間交流を促進

地域の変化・活動の効果

構成員の農業生産法人が6次産業化施設「ごぼう庵」を開設。本施設は、農家レストラン、地元野菜を加工した惣菜販売、生鮮野菜の直売等に取り組み、農産物の生産が拡大し、耕作放棄地の再生にも寄与

地域住民の団結力が増し、地域の防災意識が高まった

世代間交流が促進され、地域にしばらくなかった活気が生まれた

せん だ
仙田地区開発振興協議会

山間集落が共同して取り組む創生プロジェクト

自然・景観

伝統・継承

農林漁業
体験

所在地：新潟県十日町市赤谷癸3289
連絡先：025-761-7678



コミュニティ活動「キラリフェスティバル」



農産物直売所「仙田楽楽市場」



高齢者世帯の屋根の雪下ろし

活動のきっかけ・取組の概要

都市部への人口流出により、高齢化・過疎化が進行

集落を存続させるため、昭和53年に協議会を発足し、農業生産基盤や生活環境基盤の整備を総合的に実施するとともに、地域住民のコミュニティ活動や都市住民との交流に取り組んだ

平成22年に農業生産法人「(株)あいポート仙田」を設立し、地域マネジメント組織として高齢者住民の生活支援等に取り組んでいるところ

地域の変化・活動の効果

直売所の開設による、女性・高齢者の野菜や山菜の生産・販売・加工が、農家所得の向上と生きがい対策につながった

四季を通じたイベント開催が、地域住民のふれあいやコミュニティ活動に結びつき、その結果、交流人口が増加傾向

「(株)あいポート仙田」が、屋根の雪下ろしやミニスーパーの運営等を実施することで、地区になくてはならない存在に

NPO法人よもぎの会

雪国で女性がつなく郷土食

伝統・継承

「食」の提供・活用

女性の活躍

所在地：新潟県上越市牧区原991

連絡先：025-529-3150



活動のきっかけ・取組の概要

豪雪、過疎・高齢化の村にあって、地域の活性化を図るため、地域の女性を中心として平成11年に「よもぎの会」を発足し、21年に法人化

会では、体験交流施設「やすらぎの里川辺」で地域の食・自然や歴史をテーマに農業の食体験を行い、交流人口の増加を図るとともに、行事食や郷土食を再現

平成22年から、味噌・菓子等の製造販売を開始するとともに、高齢者への食事の宅配活動や、安否確認、見守り活動に取り組んでいる

地域の変化・活動の効果

体験交流施設の利用者数や売上の増大、交流人口の増加による収益向上で地域が活性化

高齢者への食事宅配サービスに地元小学校児童を同伴させる機会を設けたり、児童自らが高齢者に手紙を書き毎週の宅配弁当に同封して届けることにより、子どもに高齢者を見守る意識が芽生え、取組の継承が期待

「何かあったら、ここがある。食事がとれる」と、地域住民の安心の拠点に

上越市中山間地域元気な農業づくり推進協議会

庭先集荷で地域を元気に

地産地消

女性の活躍

所在地：新潟県上越市木田1-1-3（上越市役所）
連絡先：025-526-5111



活動のきっかけ・取組の概要

冬期の積雪が2～3mに及ぶ豪雪地帯で、農業生産・居住条件が厳しく、営農や居住の継続が困難に

農産物直売所が人気を集めていたが、高齢化が進む中山間地域では出荷手段のない生産者が多く存在

農産物の運搬手段を持たない農家の農産物を集出荷する取組を2地区でモデル的に開始。その後、他地区からの要望を受け、11地区を対象に庭先集荷サービスに取り組んでいる

地域の変化・活動の効果

これまで無駄にしていた農産物をスーパーの直売コーナー等で販売できるようになり、所得の確保や生きがい向上

「高田白うり」等の伝統野菜の新たな作付けといった生産振興や地域コミュニティの醸成が図られた

生産者からは、地域の活力を生み出す「庭先集荷」の継続が望まれている

ほこ ・ ごんげん
(株) 鉾・権現ジオの里

高齢化率46%からの挑戦！ジオの恵みを活かした地域活性化

伝統・継承

「食」の提供・
活用

地産地消

所在地：新潟県糸魚川市大字槇1048
連絡先：025-568-2227



販わう農家レストラン「キッチンひだまり」



自慢のそばと笹寿司



休耕田を利用したそばの栽培

活動のきっかけ・取組の概要

人口減少により、保育園等の生活
関連施設が相次ぎ統合

以前から盛んであったゼンマイの生
産が、高齢化により存続が困難に

地域の全住民を構成員とする「地域
づくり協議会」の発足を契機に、平成
25年11月に郷土料理の「笹寿司」と手
打ちそばをメインとした農家レストラン
「キッチンひだまり」を開設し、地元食
材を使った手作り弁当、惣菜、漬物等
の製造販売を行うとともに、そばづくり
体験などを受け入れ

地域の変化・活動の効果

山菜加工の事業が継承され、栽
培地の維持管理作業の受委託や放
棄されていたゼンマイ畑の再生が実
現

地域で生産される米・野菜等が
「キッチンひだまり」で活用されること
による、所得と生産意欲の向上とと
もに、ここが、子どもからお年寄りま
でが集まれる地域の新たな拠点と
なった

地域住民が一体となった様々な
取組により、住民の自信と元気や一
体感が向上

立山町農家民泊体験推進協議会



美しい山と水のまち、立山町で農家民泊体験

学校・企業

教育

農林漁業
体験

所在地：富山県中新川郡立山町吉峰野開12
連絡先：076-483-4201



受入先での田植え体験



受入先での畑の作業体験



退村式後の記念撮影

活動のきっかけ・取組の概要

立山黒部アルペンルートを有し、年間100万人の観光客が訪れるものの、ほとんどが地域を素通りし、経済効果がない状態

自然風土に恵まれた地域をより多くの人に認知してもらいたいとして、平成24年から農業体験を目的とした中学生の修学旅行の受入準備を始め、26年から受入れを開始

町内の140戸の農家が取組に参加し、農作業や食事づくりなどを通じて地域の農産物や農業を中学生にアピール

地域の変化・活動の効果

関西圏・首都圏の中学生を対象として、平成27年には7校から約1,100名を受け入れ

立山町の農産物を食べ、帰宅後その魅力をPRしてくれることで、今後、地域農産物の購入動機へのつながりが期待

高齢化している農家と都会の中学生との交流を通じ、地域の子供たちが元気をもらい地域が活性化

ほそごえ
細越ハトムギ生産組合

“ハトムギ”を核に「むらづくり」

学校・企業

農林漁業
体験

6次産業化

所在地：富山県氷見市仏生寺4020
連絡先：0766-91-6250



活動のきっかけ・取組の概要

昭和59年の土地改良事業を契機にハトムギの生産を手がけ、ティーパックのハトムギ茶やハトムギ煎餅の商品化や販売に取り組む

平成20年度からは「ハトムギオーナー事業」を開始し、種まき・収穫体験や交流会を実施するなど都市農村交流に取り組む

郷土学習として、市内中学生をハトムギの栽培やティーパックづくり体験などに受け入れ

地域の変化・活動の効果

農協が商品化したペットボトル入りはとむぎ茶のヒットに伴い、生産組合の商品売上げが向上し、この販売収益の一部を地域の環境整備等に還元することにより、むらづくり活動につながった

商品販路の広がりに伴い、県内外からハトムギオーナー事業への問合せが増加

都市住民との交流を進め、集落内の空き家紹介や休日農園の受入れを目指している

南砺市利賀地域長期宿泊体験協議会

利賀通い！ 人と自然と心 通う村

「食」の提供・
活用

子ども

農林漁業
体験

所在地：富山県南砺市利賀村89
連絡先：0763-68-2527



森の資源を知ろう 木こり体験



雪上でのもちつき体験



昔の脱穀体験

活動のきっかけ・取組の概要

人口減少、高齢化に対処するため、昭和50年から利賀村(とがむら)民宿組合として都市との交流事業を開始

姉妹都市の武蔵野市との交流を40年以上継続し、同市全域からの小学生の受入れを30年以上続け、長期宿泊体験のセカンドスクールでは7泊8日の生活体験などを受け入れ

自然環境に興味を持ち、山村での生活体験を希望する大学生を地域に受け入れ、高齢者宅で民泊

地域の変化・活動の効果

利賀で生活体験した若者とともに、武蔵野市や東京ドーム等で利賀の食材等の地域資源をPR・販売する物産展を開催

都市部の学生や若者の視点で地域資源を見直し、ラベル新調、試作販売、市場調査等の実施により、新たな商品開発と販路の拡大につながった

利賀の高齢者に、子どもたちとのふれあいを通じて生きがい生まれ、地域が元気に

株式会社のろし

能登半島の最先端、農山漁村からはじまる6次産業

観光

6次産業化

所在地：石川県珠洲市狼煙町テ部11番地
連絡先：0768-86-2525



石川県



在来種「大浜大豆」を使った地豆腐の製造



「大浜大豆」を原料とするオリジナル商品



「大浜大豆」を作付けした水田

活動のきっかけ・取組の概要

本地域は、能登半島の最先端に位置し、かつては農林漁業や観光業が盛んであったが、観光客は減少し、農業従事者の高齢化により耕作放棄地が増加

在来種の「大浜大豆」の復活と、生産された大豆や地域資源を活用した6次産業化を目指して、平成20年度に交流施設「狼煙(のろし)」を整備し、22年3月に道の駅に登録

地豆腐の製造・販売、各種体験教室の受入れや、「大浜大豆」を原料とするオリジナル商品の開発・販売を実施

地域の変化・活動の効果

豆乳ソフトクリーム、おからドーナツ、おからコロッケなどの売上げは好調で、生産者の生産・販売意欲の向上や地域の雇用を通じて、地域の活性化に大きく寄与

収益の一部を地区集会場の修繕費に充てるなど、地域住民に還元

観光との連携・強化や、地域主体での地域資源の高付加価値化により、地域全体の活性化を目指している

鉋打ふるさとづくり協議会

なたうちたんけん・はっけん・ほっとけん

農林漁業
体験

6次産業化

医療・福祉

所在地：石川県七尾市中島町西谷内への98番地
連絡先：0767-66-0867



石川県



首都圏のイベントでの「鉋打米」や漬物の販売



旧保育園を活用した小規模多機能介護施設



買物代行サービス

活動のきっかけ・取組の概要

過疎化の進行を危惧して昭和56年に地元有志が発足させた「鉋打(なたうち)むらづくり推進会議」を母体とし、平成4年に「10集落はひとつ」を掲げて新たな協議会組織を発足

基盤整備による低コスト米生産や天日干しの「鉋打米」のブランド化とともに、直売所や加工処理施設の整備による漬物・味噌の製造・販売に取り組む

平成22年に地域住民の参画による「NPO法人なたうち福祉会」を設立し、電話による安否確認、買物代行、配食サービス等を行うほか、旧保育園を活用した小規模多機能介護施設の開設等の高齢者福祉対策を実施

地域の変化・活動の効果

女性加工グループによる農産物加工品の生産と農産物直売所の運営により、地区内の所得と雇用が確保

住民からの要望により設立した、小規模多機能介護施設「なたうちニコニコホーム」では、高齢者の利用が進むとともに、買物代行の利用者は延べ1,000人を超え、地区内の女性の雇用にも結びつく

地区内の空き家を整備し、仕事の創出で人を呼び込み、地区外からの転入・定住を目指している

合同会社 菜夢来

能登のころ柿再生プロジェクト

伝統・継承

研修

6次産業化

所在地：石川県羽咋郡志賀町若葉台13番地3
連絡先：0767-38-1164



石川県



「ころ柿」の生産



「ころ柿」の製造プロからの技術指導



インターン大学生の生産体験

活動のきっかけ・取組の概要

東日本大震災を契機に、地元の先行きの不透明さを感じ、「能登でたくましく暮らせる人づくり」を目標に取組を開始

町特産の「ころ柿」の再興をメインとする農業の再生を目指して農地中間管理機構から樹園地を借り受け、地元の熟練した柿生産者を含め10名の正社員を雇用し、年間約60トンの柿を生産

「ころ柿」の県優秀ブランド製造技術を有する者を従業員に迎えて技術指導を受け、ブランド化を図る

地域の変化・活動の効果

自社加工工場での製造により「ころ柿」の量産が可能となり、販路の全国拡大や、海外への商品展開を実現

平成26年に長期のインターンシップで大学生8名を受け入れ、うち1人が正社員として入社し、限界集落の空き家に入居するなど、地域への移住・定住に貢献

地元農家からの柿の買入れにより、地域の農業収入の安定と、耕作放棄地の再生による柿の増産を目指している

こまつSATOYAMA協議会

ものづくり都市にいきづく里山文化

「食」の提供・
活用

学校・企業

教育

所在地：石川県小松市滝ヶ原町ウ20番地
連絡先：0761-65-2436



活動のきっかけ・取組の概要

自然と人との共存共栄を持続・発展させるため、平成22年に協議会を立ち上げ、豊かな里山の地域資源や自然環境を活用した地域づくりを目的として、廃校を再利用した「里山自然学校こまつ滝ヶ原」を開校

未来の子どもたちに豊かな自然環境や里山の持続可能な文化を残すため、今を生きる子どもや大人に里山の大切さや楽しさを伝える活動を行う

地域の豊かな旬の食材を使った料理の提供と食文化を伝承する「里山食堂」や、料理レシピの創作に励む「里山グルメ塾」の開催などにより、交流人口を拡大

地域の変化・活動の効果

各地区の団体や個人が連携し、自然や文化との触合い、人の交流を通じて相互協力の体制が構築

子どもたちの豊かで多様な感性を育み、環境保全への意識を醸成した

数多くの大学との連携を図り、大学のノウハウを積極的に活用しながら地域に根付いた研究を実施

きなめり
木滑里山保全プロジェクト

「山笑い」 人も緑も、みんな元気に

自然・景観

伝統・継承

農林漁業
体験

所在地：石川県白山市木滑ト25
連絡先：090-4684-6189



石川県



耕作放棄地を再生して田植えを行う「山笑い」



盆踊り「あさんがえし」の復活



集落での交流座談会

活動のきっかけ・取組の概要

耕作放棄地が増大し、20年後には集落ごと消滅するかもしれないとの危機感の下、交流人口の拡大を目指して平成22年に活動を開始

里山の文化や地域資源を活かした里山祭「山笑い」を開催し、都市住民との交流による「かんじきウォーク」や里山料理を並べる「神社市」などを開催

荒廃が進む裏山の整備を行い、参加者を交えて間伐や登山道整備を兼ねたイベントを開催

地域の変化・活動の効果

「何もなく、何もできない」との地元の思いに対して、多くの参加者が「集落内の昔話や手作業などに感動した」と言ってくれる。こうした、外部の視点を取り入れることで住民の誇りと自信が醸成

住民自身が何かをしなければとの意識が強まり、最初は遠くから見ただけの住民が何らかの形で「山笑い」で役割を担うようになった

何がしたいかも分からなかった小さな里山集落で、様々な交流が生まれ、それぞれの役割と目標が見えた

特定非営利活動法人ピアファーム

楽しく農業 癒しの果樹園でおもてなし

6次産業化

地産地消

医療・福祉

所在地：福井県あわら市二面45-19-1
連絡先：0776-77-2930



活動のきっかけ・取組の概要

なし園の廃園という現状を目の当たりにしたとき、障がい者が生き活きと働いている農場をイメージしたことから、平成20年から農業に特化した障がい者の就業の場づくりに挑戦

約2haの耕作放棄地の再生により経営規模を拡大し、跡継ぎのいないなし園等を活用してなしやぶどう・野菜を栽培するほか、メンバーの職域拡大のため3か所の農産物直売所を設置・運営

就労に必要な知識の習得や能力の向上のための訓練を実施しながら、「ナシゼリー」等の開発など、6次産業化にも取り組んでいる

地域の変化・活動の効果

フードマイレージの短縮を目指して設置した農産物直売所において、地域の生産者と連携した販売により、地域農業が活性化

認定農業者と就業継続B型事業所として認定を受けたことにより、作業を担う障がい者の賃金向上に貢献するとともに、新たな農業の担い手を育成・雇用

「さりげなく あたりまえに はたらく」をスローガンに、地域農業の振興と活性化を目指している

お はら
小原ECOプロジェクト

再生古民家を拠点とした交流による地域再生

自然・景観

伝統・継承

観光

所在地：福井県勝山市長山町2-2-21

連絡先：0779-83-1011



活動のきっかけ・取組の概要

小原地区は廃村の危機にあり、観光振興、環境・資源保全等をコンセプトに地域再生に取り組むため、平成18年にプロジェクトを設立

集落内の明治時代に建築された古民家の再生・修復を大学生が主体となって取り組み、古民家6棟、休憩所1棟を再生

宿泊可能な体験交流施設として修復した古民家を拠点に、林業、山菜採り、炭焼き、雪かき、かんじきトレッキング等の体験など、一年を通じてエコツアーを実施

地域の変化・活動の効果

登山者・入山者から協力金を徴収して登山道の整備、天然記念物の保全や自然保護活動に活用することで、地域資源の適切な保全やマナー向上につながり、都市農村交流に寄与

都市住民の集落への入込みにより、活動が継続的に行われ、集落が活性化するという地域再生の礎になった

今後とも古民家の再生を継続しながら、魅力あるプログラム開発や、関係者と集落との連携を推進

のむき風の郷

地に根を張る強い風がふく郷で地方創生

伝統・継承

「食」の提供・
活用

6次産業化

所在地：福井県勝山市野向町竜谷2-21-1

連絡先：0779-87-3322



活動のきっかけ・取組の概要

平成24年9月に整備された野向町活性化交流センター「のむき風の郷」を拠点に、これまで取り組んできた歴史文化遺産の発掘やエゴマの生産、コスモスまつり等の地域資源を活かしたまちづくり活動を更に展開し、他地域との交流と持続的な地域活性化に取り組む

地域で古くから使われてきたエゴマが後継者不足で絶滅寸前であったため、市の支援事業を活用して、エゴマを栽培・搾油し、エゴマ油を販売

県や大学と連携し、エゴマを使用したドレッシングや、シフォンケーキ、かりんとう饅頭等を開発

地域の変化・活動の効果

エゴマが生産組合で集团的に生産されるようになり、勝山市の産地交付金の対象に位置付けられ、市の代表的な作物に

ドレッシング等の新商品が、エゴマ油や農産物直売と共に販売額が増加しつつあり、地域の持続的な活性化につながっている

福井大学のボランティアサークルとの連携により、新たな顧客の開拓につながり、イベントが盛り上がるなどの効果が発生

奥系生元気な里山会

農が育む地域の絆 農地再生で分校の再生

伝統・継承

農林漁業
体験

医療・福祉

所在地：福井県丹生郡越前町天谷73-1

連絡先：0778-34-5048



活動のきっかけ・取組の概要

過疎・高齢化で増加する耕作放棄地を目の当たりにしたUターン者が中心となり、荒廃農地を再生し自ら農業を始めて、平成23年に協議会を設立し、農村社会にかつて見られた「結(ゆい)」の関係を蘇らせる取組を分校のエリアで実施

農薬や化学肥料を減らしたこだわりの米(奥系生米)の栽培や、農業体験を受け入れる「里山田んぼ学級」、田んぼオーナー制などに取り組んでいる

高齢者の一人暮らし世帯への奥系生米の贈呈や屋根の雪下ろしなど、福祉活動を実施

地域の変化・活動の効果

自然環境に恵まれた地域で特別栽培米の生産から直販に取り組むことにより、「奥系生米」としてブランド化

活動がマスコミに報道されるなど、自分たちの行ってきたことに注目が集まることでやりがい生まれ、地域の絆が深まり、地域再生への意識が向上

農地や住環境を守る取組を、集落単位から地域全体へ広げ、外部の若者の視点・意見を取り入れながら、地域活性化ビジョンの作成・推進を目指している

②1 東郷ふるさとおこし協議会

まちづくりは人材発掘と楽しいボランティア

自然・景観

観光

ボランティア

所在地：福井県福井市東郷二ヶ町6-13-1

連絡先：0776-41-0306



「東郷街道おつくね祭」でのおつくね配布



「堂田川(どうでんがわ)」のライトアップ



作成したポスター等

活動のきっかけ・取組の概要

地域住民と地域社会の関係の希薄化を危惧し、平成3年に住みたくなるふるさとづくりと地区の活性化を目指して協議会を設立し、4年をかけて住民アンケートやシンポジウムを重ね、将来ビジョンを作成

地区住民の要望により、平成7年から地区住民参加型のお祭り「東郷街道おつくね祭」を開催し、地区の絆が結ばれ活性化（「おつくね」＝「お握り」）

地域の魅力を分かりやすく伝えるため、地域のシンボルである疏水百選「堂田川(どうでんがわ)」のカレンダーやポスター等を作成

地域の変化・活動の効果

「東郷街道おつくね祭」は神輿製作やパフォーマンス練習など、子どもから高齢者までが参加するため、各町内が活性化

「おつくね祭」の2日間で配布する4,000個の「おつくね」の用意は、災害時の炊き出しの練習に

年間数十万人が訪れる隣接観光地との連携を模索するとともに、商品開発を軌道に乗せて観光の土産品にして、地区内の雇用の拡大を目指している

② 特定非営利活動法人 自然体験共学センター

過疎地に飛び込んだNPOの“キセキ”

子ども

教育

自然体験
活動

所在地：福井県福井市中手町7-3

連絡先：0776-93-2013



夏のキャンプでの川遊び



手刈りでの稲刈体験



冬のキャンプでの雪遊び

活動のきっかけ・取組の概要

子どもの生きる力やチャレンジ精神、思いやりの心などを育む教育活動を行うため、廃校が活用でき自然環境等が残されている福井市上味見(かみあじみ)地区を活動拠点として、平成16年にNPO法人を設立

「自然・暮らし・ひと」の地域資源を最大限活用し、幼児から中学生までを対象とした自然体験活動に取り組む

事業内容が多様化してきたため、平成27年度に事業を三分化し、独立性を保ちつつ互いに連携・補完しながら活動を発展

地域の変化・活動の効果

福井県内のみならず関西圏から毎年1,000人を超える子どもたちが自然体験活動に参加し、そのうち約3割がリピーター

廃校が「新たな地域の学校」として再出発し、地域とは縁もゆかりもないNPO法人と地域住民とが連携・協働することにより、過疎化が進行する農山漁村の活性化を行う新たなモデル的な取組に

地域のにぎわいの創出や、地域力の向上を目指している

②③ あばん亭

あばん達の起業 知らない間に6次産業

6次産業化

地産地消

女性の活躍

所在地：福井県小浜市本保23-26

連絡先：0770-57-1039



「あばん亭」外観



ご要望に応じて作る料理の一例



伝承料理「のっぺい汁」

活動のきっかけ・取組の概要

空き家となった築100年の古民家の保全利用を検討し、宮川地区が市内から離れた山間地域にあることから、平成20年3月から宅配弁当の製造・販売を開始し、その後、地域からの要望でレストランも開業

お米も野菜も「地元食材を使い、「おばさん(注：宮川地区であばんと呼ぶ)」達が食に関する女性起業でむらづくりも含め前進しよう」との思いで取組を開始

昔から家庭で作られている「なまぐさ汁」や「のっぺい汁」などをメニューに加え、伝承料理の継承にも努めている

地域の変化・活動の効果

16名のスタッフが、孫の世話や高齢者の介護、農作業等のかたわらに就業時間をうまく組み合わせて活動するなど、ライフスタイルに合わせて活躍

地域の人たちが、素晴らしい風景や食材といった、これまで気が付かなかった地域の良さに気付くとともに、材料となる野菜を作ってくれている生産組合にも励みになり、農業生産や地域活動に生き活きと携わるようになった

使用する地元野菜の割合を高めるため、生産組合等と連携した野菜づくりの広がりや、法人化による経営の安定を目指している

① 新湊漁業協同組合

新湊の魚、日本一。食べに来られ!

「食」の提供・活用

食育

地産地消

所在地：富山県射水市八幡町一丁目1100番地
連絡先：0766-82-7707

グランプリ受賞!



富山県



市内小学校での「カニ給食」



昼セリ



「万葉カレイ」の試食会

活動のきっかけ・取組の概要

昭和62年の漁港移転を契機に漁業者が主体となって各種イベントを開催。平成20年からは「新湊カニかに海鮮白えびまつり」を開催し、キトキトの鮮魚も販売（「キトキト」＝「新鮮」）

地元で水揚げされる魚食の普及のため、平成15年から市内の全小学6年生を対象に漁協組合長自ら実演する「カニ給食」や、新湊高校の生徒を対象に漁協青年部による「魚のさばき方教室」を実施

朝昼2回のセリ見学のための見学者通路の新設や、水産物の新たなブランド化など、地元水産業の発展に取り組んでいる

地域の変化・活動の効果

「カニ給食」はテレビでも紹介されて全国から反響を呼び、「魚のさばき方教室」は生徒の反応が良く、魚食文化の継承につながっている

組合長を先頭にした長年の地道な努力が実り、「万葉カレイ」などのブランド化につながるとともに、県内外からの集客数も年々増加

引き続き、魚食文化継承や食育推進を継続し、水産業の発展のみならず、他産業の発展や観光の振興と市の活性化を目指している

② しゅんらん 春蘭の里実行委員会

みんなの探しものが見つかるむらづくり

自然・景観

伝統・継承

農林漁業
体験

所在地：石川県鳳珠郡能登町宮地16-9
連絡先：0768-76-0021



石川県



輪島塗の御膳での食事



黒瓦と白壁の農家民宿群



きのこ狩り体験

活動のきっかけ・取組の概要

集落の存続に危機感を持った有志が話し合いを重ね、里山の暮らしと自然を活かした地域活性化を目指して平成8年に実行委員会を設立

以前に農産物の加工品販売で産業創出を目指して失敗した経験を踏まえ、「来てもらい丸ごと味わってもらおう」という方針に変更し、平成9年に開業した「春蘭の宿」を核に地域ぐるみで農家民宿を開業

1日1客、農家民宿の質や料金を統一し、地元食材のみを使用した料理を輪島塗の器で提供するほか、80以上の体験メニューを用意

地域の変化・活動の効果

農家民宿は47軒に増え、入込客数は1万1千人以上となり、このうち外国人旅行者は約1,700人に上っている

農家民宿の売上が増加し、農家民宿開業を目指す若者が定着したり移住者につながっている

地域住民の景観保全に対する意識が向上し、耕作放棄地が解消されたほか、山林を整備し、きのこ狩り体験等の活動の拠点に

の と たか
◎ NOTO 高農園

移り住んだ能登島の魅力を野菜に籠める

6次産業化

定住・移住

女性の活躍

所在地：石川県七尾市能登島百万石町27-3
連絡先：0767-85-2678



石川県



能登島の魅力を野菜に籠める



耕作放棄地の再生



生食可能なかぼちゃ「コリンキー」

活動のきっかけ・取組の概要

会社員生活を経て、平成12年に夫婦そろって能登島に移住し新規に就農。耕作放棄地を再生しながら規模拡大を進め、能登の伝統野菜や西洋野菜を全てエコ栽培又は有機栽培で行っている

夫婦そろって取得した「野菜ソムリエ」の資格を活かし、消費者とのコミュニケーションを重視した販売活動を実施

夫は「能登エコファーマーズ倶楽部」を設立し、エコ農業や地産地消をPRするほか、妻は若手女性農業者や異業種女性との仲間づくりにも取り組んでいる

地域の変化・活動の効果

経営面積は約20ha、約300品種を超える野菜を生産し、規模拡大と共に頑張る仲間の増加に伴い能登島の耕作放棄地が解消

移住希望者やシェフ・バイヤー等の農業体験の受入れを行うこともあり、首都圏や県内を中心とした全国のデパートやレストラン約200軒に野菜を納入

「食」のつながりから、世界農業遺産に認定された能登の素晴らしさを発信し、交流人口の拡大と地元経済の発展への寄与を目指している

① ^{でん が} 殿下の里づくり組合 かじかの里山 ^{でん が} 殿下 部会

引継ごう伝承の味、伝統の文化！

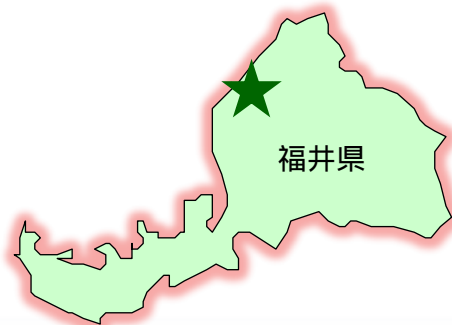
伝統・継承

学校・企業

女性の活躍

所在地：福井県福井市畠中町26-6

連絡先：0776-97-2622



農家レストランでのおもてなし



ランチバイキング料理の一例



開業時のスタッフの皆さん

活動のきっかけ・取組の概要

地区唯一の商業施設のそば屋の廃業危機に面し、地元の60～80歳代の女性たち12名が「そばに加えた地元料理のランチバイキング」を思い立ち、平成25年に「かじかの里山殿下」を開業

ランチバイキングや弁当宅配、法事等各種行事での料理の提供により、そば屋を継続し、地区独特の伝承料理を後世に伝える

平成26年に「ビン・缶詰加工場」を新設し、人気のある惣菜を缶詰めにして全国に販売を開始

地域の変化・活動の効果

「素朴だけど美味しい」との評判が瞬く間に広がり、山間地にもかかわらず、ランチを目的の来客に加え、観光途中の立寄客も多く、人がワンストップしてくれるようになり、地域が活性化

大学生を中心とした多くの若者が地域を訪れ、イベントへの参加など様々な活動に協力してくれることで、地域全体が活気付いた

限界集落と言われる地域でも、しっかりと活性化できることを証明

⑤ 農業生産法人 有限会社 かみなか農楽舎

農業で地域を元気にする次世代リーダー育成

農林漁業
体験

研修

定住・移住

所在地：福井県三方上中郡若狭町安賀里74-1-1
連絡先：0770-62-2125



社員から指導を受ける研修生



地元担い手との交流会



研修生と社員の共同作業

活動のきっかけ・取組の概要

若狭町では農業従事者の高齢化と後継者不足が大きな課題となっており、農村地域へのUターン人材の確保を目的とした研修事業を平成14年から実施

町内での就農・定住を目指し、インターンや研修で農業・自然・環境に興味のある若者を受け入れ

研修生は、2年間、水稻を主体とした露地及び施設野菜の栽培実技と座学講習に加え、地域社会の一員として溶け込めるよう、江ざらい等の集落行事や秋祭り等の伝統行事へ積極的に参加

地域の変化・活動の効果

これまでに研修生22人が町内に就農・定住し、町内農地の10%以上を利用集積

卒業生の3人が農家民宿を運営し、農業体験などを通じて都市との交流に貢献

集落行事や伝統行事への積極的な参加が地域の若者のこれら行事への参加につながっていることに加え、卒業生が家庭を持ち子供たちが田んぼや野山を走り回る姿が見られるなど、地域が活性化して住民にも喜ばれている

北陸農政局「ディスカバー農山漁村の宝」選定事例集

平成28年2月発行

【お問合せ先】

北陸農政局 農村振興部 農村計画課 農村計画推進班

〒920-8566 石川県金沢市広坂2丁目2番60号 金沢広坂合同庁舎

電話（直通）：076-232-4531 FAX：076-263-0256

【北陸農政局「ディスカバー農山漁村の宝」ホームページ】

URL：<http://www.maff.go.jp/hokuriku/rural/kasseika/index.html#discover>